

北海道における国際会議等誘致の取組と現況について

北 海 道
平成26年7月30日(水)



国際会議等の北海道開催推進に係る取組と方針



北海道における国際会議等の誘致の取組強化

- ・市長会、町村会のほか、経済団体等とも連携し「北海道国際会議等誘致推進会議」を設置(H20. 9. 11)
→官民一体となった国際会議等の誘致活動
- ・MICEを推進する道内CBとも連携の上、民間や各種学会等も含めた幅広い誘致活動の展開

国の機関からの支援

- ・「国際会議等の北海道開催の推進について」(H20. 7. 4閣議了解)に基づく支援
→「省庁連絡会議」の設置(H20. 7. 29)
→「向こう5年間の国際会議等の開催計画」等、各種情報等の提供
→「情報交換会」の開催(H24～)

国際会議等の北海道開催推進

国際会議等の北海道開催を推進することで、北海道の魅力、洞爺湖サミットで世界に広まった「北海道」ブランドをより戦略的・効果的に発信

人と地域が輝き、環境と経済が調和する世界にはばたく北海道の実現

「ほっかいどう未来創造プラン」(H20. 3)

アジアに輝く北の拠点～開かれた競争力ある北海道の実現

「地球環境時代を先導する新たな北海道総合開発計画」(H20.7)

我が国全体の国際会議開催数が増加し、「アジアNo1の国際会議開催国として不動の地位を築く」等、政府全体の目標達成に貢献するとともに、観光立国の実現に寄与

北海道における国際化の推進と国際会議等



- 「北海道国際化推進指針」(H23年3月)に基づき、海外の自治体等との交流、国際交流団体等との連携、国際会議等の開催を通じた多様な交流の展開など様々な分野で国際交流の拡大に取り組み、国際化を推進
- 国際化の推進によって北海道が広く世界に認知されることにより、国際会議等の北海道開催推進を後押しする効果を期待

＜国際化の推進＞

- ・国際化のための基盤づくり
- ・国際展開による北海道経済の振興
- ・人材育成と魅力ある地域づくり

「世界の中の北海道」
を広く世界に認知

＜国際会議等の開催＞

- ・北海道の魅力発信
- ・経済的な効果
- ・道民の多様な交流

北海道における海外とのネットワーク

～北海道が姉妹・友好提携を締結している都市・地域～

- カナダ・アルバータ州 (1980年～)
- 中国・黒竜江省 (1986年～)
- アメリカ・マサチューセッツ州 (1990年～)
- ロシア・サハリン州 (1998年～)
- 韓国・釜山広域市 (2005年～)
 - ・慶尚南道 (2006年～)
 - ・ソウル特別市 (2010年～)
- タイ王国・チェンマイ県 (2013年～)

※道内の市町村においては、74市町村が、114組の姉妹友好提携を、海外の都市等と締結。

(H25年12月現在:北海道知事室国際課調)

▼ソウル特別市との友好交流協定



▼タイ・チェンマイ県との友好関係協定



▲「姉妹友好提携地域代表者会議」(2010年11月:札幌市)

訪日外国人来道者数



○平成25年1月から12月までの暦年では 101万4,700人と、はじめて100万人を突破。日本全体の訪日外客数1,036万人の約1割を占める。

○年度別でも、平成24年度が約79万人と過去最高。平成25年度においては、第3四半期までで76万人と、更に増加する見込み。

(※日本政府観光局(JNTO)調べ)

暦年の推移(平成23年以降)

	1～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	計 (人)
平成23年	204,700	53,100	156,500	146,900	561,200
平成24年	213,200	143,800	231,700	167,600	756,300
平成25年	247,300	197,000	333,400	237,000	<u>1,014,700</u>

※平成25年度第1～第3四半期 767,400人
(前年同期比+41.4%)

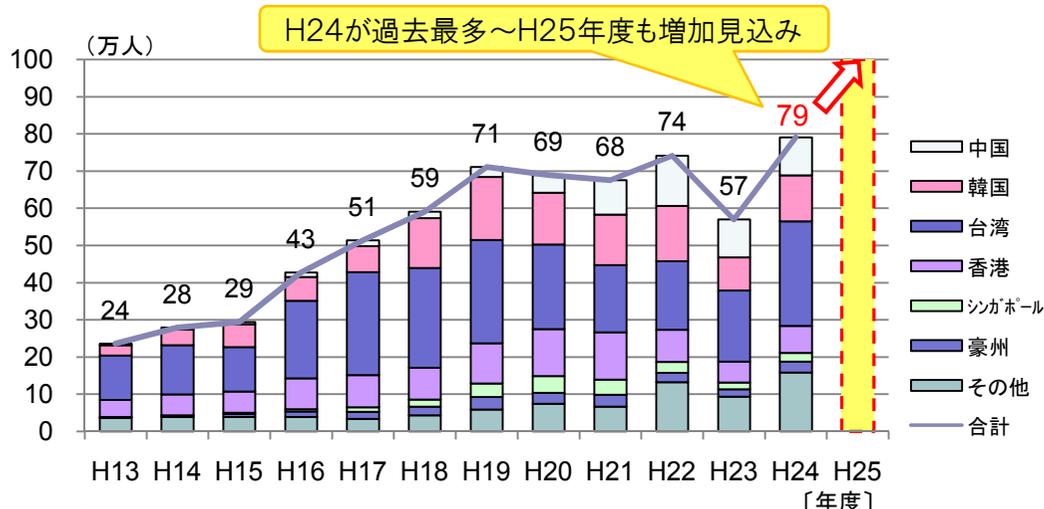
100万人突破!

平成25年(暦年)の国・地域別内訳

- ・中国を除く各国で、前年から増加。特に、直行便が増便されたタイでは、200%超の伸び率
- ・最多の台湾を始めアジアが全体の約86%を占める

国・地域	来道者数(人)	前年同期比	構成比	
アジア	中国	107,700	△8.8%	10.6%
	韓国	137,100	+14.8%	13.5%
	台湾	386,400	+46.0%	38.1%
	香港	103,000	+42.3%	10.2%
	シンガポール	34,800	+49.4%	3.4%
	マレーシア	33,200	+56.6%	3.3%
	タイ	73,000	+212.0%	7.2%
ロシア	12,100	+10.0%	1.2%	
米国	27,400	+42.7%	2.7%	
カナダ	10,400	+25.3%	1.0%	
オーストラリア	31,100	+29.6%	3.1%	
その他(不明含む)	58,500	+14.0%	5.8%	
合計	1,014,700	+34.2%	100.0%	

訪日外国人来道者数の推移(年度別)



注)北海道経済部観光局調 (平成22年度から新算定方式により調査)

北海道のもつ独自性・優位性～「北海道価値」



優れた自然環境、安全・安心な食、人々を魅了する観光資源や多様なエネルギー資源、自然と共生するアイヌの人々の歴史・文化等は、**世界に誇る「北海道価値」**

○優れた自然環境

湖沼、河川、火山、温泉、湿原など全国でも類い希な変化に富む自然と数多くの動植物に恵まれています。世界自然遺産・知床などに代表される本道の美しく豊かな自然環境は、世界に誇れる財産です。6つの国立公園、5つの国定公園、12の道立自然公園は、優れた観光資源として、国内外の来訪者をひきつけ、アウトドア活動のメッカにもなっています。



○多様なエネルギー資源

風力、太陽光、農畜産廃棄物、雪氷など新エネルギー資源の宝庫であり、風力発電量は全国1位。近年では、新エネルギー源としてバイオマスを活用したバイオエタノールの実用化の可能性が広がっているほか、水素エネルギーを活用した燃料電池の研究も進められています。



○豊かな水と森林

道民一人当たりが使用できる水資源は、全国平均値の約3倍。きれいな河川・湖沼調査でも、上位に多くの河川、湖沼が入っています。森林は、国土の森林面積の22%を占め、林業産出額は、全国2位となっているほか、国土保全や地球温暖化防止などの面で貴重な役割を担っています。



○安全・安心な食、高い食料供給力

農業の産出額、水産業の漁獲量・漁獲高が全国1位。食料自給率は約200%であり、カロリーベースで我が国の食料供給の約2割を担っています。また、本道の冷涼な気象により、単位面積当たりの農薬の使用量は都府県の約半分であり、安全・安心な農産物がつくられています。



○独自の歴史・文化

本州と比べ歴史が浅いと思われがちな本道ですが、道内には自然とともに生きるアイヌの人々の歴史・文化があります。また、急速に近代化を成し遂げた歴史は、開発途上国のモデルともなっています。本道の歴史や北方の風土、開放的な土地柄は、進取の気質に富む個性ある文化を育てています。



○冬・雪・冷涼

北方圏に属する本道は、他の北方圏諸国と比較して低緯度にありながら降雪量が多く冬が長いこと、流氷が到来する最南端の地であること、四季の変化が明瞭であるといった気象特性を有しています。冬の寒さ、積雪と融雪、夏の冷涼さなどは、冬や雪のハンディを克服する工夫や仕組みを促してきたばかりでなく、本道の暮らしや産業、文化、技術などに豊かな恵みと多くの価値をもたらしています。



～これら北海道の特性を活かし、世界から高く評価される国際会議に～

北海道の自然・文化等



＜開拓史時代の洋風建築＞
(札幌時計台、豊平館ほか(北海道遺産))



＜稚内港北防波堤ドーム＞
(北海道遺産)



＜旭山動物園＞



＜流氷とガリンコ号＞



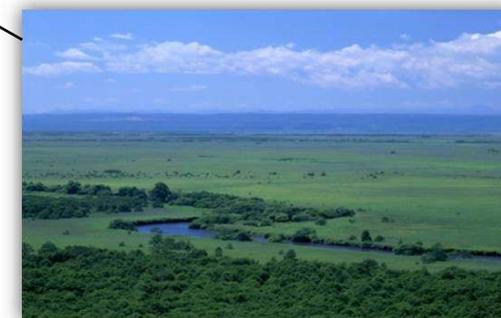
▲洞爺湖有珠山ジオパーク
(平成21年8月、日本で初めて「世界ジオパーク」に登録)



◀北海道・北東北を中心
とした縄文遺跡群
(平成21年1月 世界遺産暫定一覧表に記載)



▲知床
(平成17年7月 世界自然遺産に登録)



▲釧路湿原
(昭和55年6月、ラムサール条約の日本第1号の登録湿地)



＜函館の夜景＞



◆北海道洞爺湖サミット以降における主な国際会議等の開催状況

- 第1回 G8水と衛生に関する専門家会合 (H20.12.16~17) 【帯広市】
- 第5回 日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議(太平洋・島サミット) (H21.5.22~23) 【占冠村】
- 第8回 日豪観光交流促進協議 (H21.6.1~2) 【ニセコ町】
- 第7回 日ASEAN次官級交通政策会合 (H21.6.15~19) 【函館市】
- 第12回 日中韓三カ国環境大臣会合 (H22.5.22~23) 【千歳市・苫小牧市】
- 2010年 日本APEC貿易担当大臣会合 (H22.6.5~6) 【札幌市】
- 第15回 日・オーストリア21世紀委員会 (H23.5.22~23) 【小樽市】
- 第5回 日中航空政策対話 (H24.6.13~15) 【釧路市】
- 第13回 北東アジア港湾局長会議・北東アジア港湾シンポジウム (H24.10.8~9)
【小樽市・札幌市】
- 第13回 日中韓特許庁長官会合 (H25.11.14~15) 【札幌市】
- 第11回 日ASEAN港湾保安専門家会合 (H26.2.25~26) 【札幌市】
- 2014年 国際電気通信連合電気通信標準化部門第16研究委員会(ITU-T・SG16会合)
(H26.6.30~7.11) 【札幌市】

◇民間・学会等による国際会議

- 第8回 日中韓賢人会議 (H25.7.7~8)〔日本経済新聞社〕 【洞爺湖町】
- 第4回 日中韓ユース・フォーラム (H25.9.16~21)〔日本国際連合協会〕 【札幌市】
- 第20回 ディ스플레이国際ワークショップ (H25.12.4~6)〔映像情報メディア学会〕 【札幌市】
- 第26回 有機金属化学国際会議 (H26.7.13~18)〔公益社団法人日本化学会〕 【札幌市】
- 第9回 国際反芻動物生殖科学シンポジウム (H26.7.25~29)〔帯広畜産大学〕 【帯広市】
- 第11回 アジア・大洋州地球科学学会年次総会 (H26.7.28~8.1)〔アジア・大洋州地球学会〕
【札幌市】

交通アクセス～道内空港の概況～



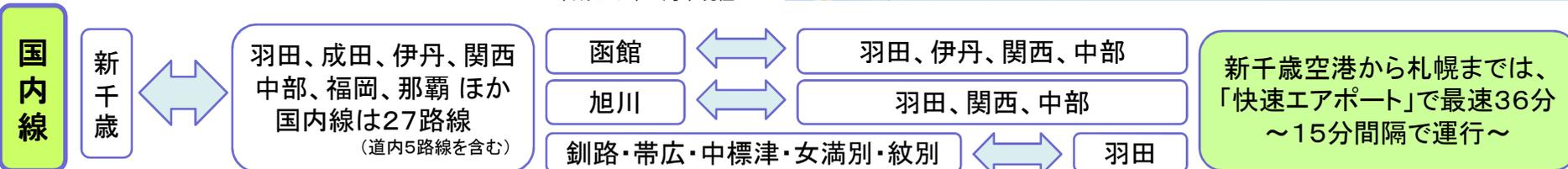
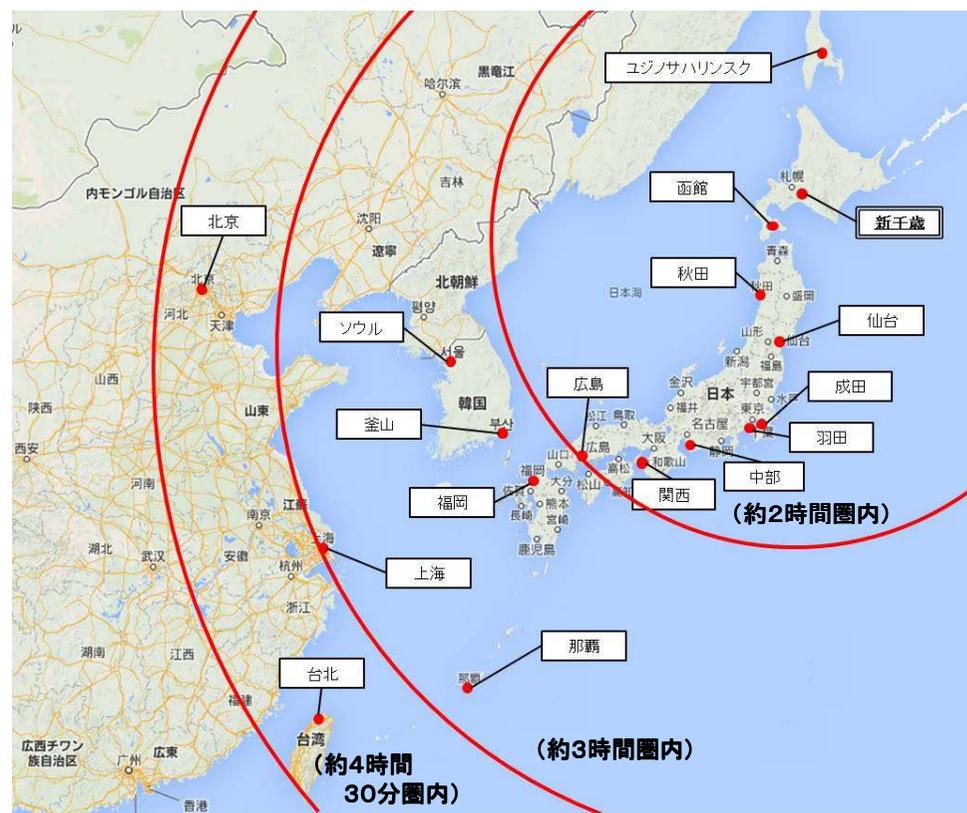
- 道内空港に発着する国際定期航空路線は、新千歳、函館、旭川空港と東アジア地域とを結ぶ路線を中心に15路線
- 道内主要空港から、国内各都市への接続も多数

〔道内空港における国際航空ネットワークの状況〕

空港	路線	航空会社	便数
新千歳	ソウル線	大韓航空	週11往復
		ジンエアー	週7往復
		ティーウェイ航空	週5往復
	釜山線	大韓航空	週3往復
	北京線	中国国際航空	週5往復
	上海線	中国東方航空	週7往復
	香港線	キャセイパシフィック航空	週10往復
	台北線	エバー航空	週7往復
		チャイナエアライン	週7往復
		トランスアジア航空	週2往復
	バンコク線	タイ国際航空	週7往復
	ガム線	ユナイテッド航空	週2往復
ホノルル線	ハワイアン航空	週3往復	
ユジノサハリンスク線	オーロラ航空	週2往復	
函館	台北線	トランスアジア航空	週3往復
		エバー航空	週4往復
旭川	ソウル線	アシアナ航空	季節運航
	北京線	中国東方航空	季節運航
	上海線		
	台北線	トランスアジア航空	週2往復
		エバー航空	週3往復

※平成26年7月末現在

～新千歳空港から主要空港への所要時間～



道内各地の主なコンベンション施設等



札幌



札幌コンベンションセンター

- 会場数 19 (シアター最大: 約5,600人)
- 主な会場 大ホール (2,607㎡ / 2,500人)
特別会議場 (692㎡ / 700人)
中ホール (533㎡ / 600人)
- 主な開催実績
 - ・2010 A P E C 貿易担当大臣会合 稚内空港
 - ・第19回国連軍縮会議 等

旭川



旭川大雪クリスタルホール

- 会場数 7 (シアター最大 597人)
- 主な会場 コンサート室 (597人)
大会議室 (294㎡)
レセプション室 (171㎡)

釧路



釧路市観光国際交流センター

- 主な会場
 - ホール (1,793.49㎡ / シアター1,500人 / 3分割可能)
 - 視聴覚室 (123.26㎡ / シアター100人)
 - 研修室 (188.86㎡ / シアター120人 / 3分割可能)

北見



北見芸術文化ホール

- 会場数 13
- 主な会場 音楽ホール (576席)
中ホール (420席)
- その他 和室、茶室あり

函館

2015年8月オープン予定



函館アリーナ

- 規模 (敷地面積) 23,665㎡
- 主要施設
 - メインアリーナ (最大5千人収容)
 - サブアリーナ
 - 多目的会議室なども設備

◇HPで、パンフレット掲載中

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014022000038/>



▲札幌コンベンションセンター



▲ウィンザーホテル



▲アルファリゾートトママ



▲とちプラザ



<その他開催実績のある施設、会場等>

とちプラザ (帯広市)

- ・第1回 G8水と衛生に関する専門家会合

アルファリゾートトママ (占冠村)

- ・第5回日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議 (太平洋・島サミット)

洞爺ウィンザーホテル (洞爺湖町)

- ・G8サミット
- ・第8回日中韓賢人会議

函館国際ホテル (函館市)

- ・第7回日ASEAN次官級交通政策会合
- ・第27回日韓観光振興協議会

あかん湖鶴雅リゾート (釧路市)

- ・第5回日中航空政策対話

ヒルトンニセコビレッジ (ニセコ町)

- ・第8回日蒙観光交流促進協議会

札幌パークホテル (札幌市)

- ・第13回日中韓特許庁長官会合

など

ユニークベニュー・エクスカーショ等



○モエレ沼のガラスのピラミッド〔札幌市〕



世界的な彫刻家イサム・ノグチにより設計された、全体を一つの彫刻とした公園。雪冷房を利用した園内のガラスのピラミッドでは、緑とピラミッドの調和した幻想的なパーティーやセレモニーを演出します。

○ワッカ原生花園

オホーツクとサロマ湖を分ける砂洲の中にある原生花園で、300種を超える花が群生し、可憐な花を咲かせ、訪れた観光客を魅了します。エクスカーションには欠かせないスポットになっています。



○雪の美術館〔旭川市〕



大雪山系のふもと旭川市には、日本で最も美しい雪の結晶が降ります。そんな旭川の丘の上にある雪の美術館は、建物から展示まで全て雪をイメージしてつくられた美術館です。館内の「雪の館」では、最大100名様まで食事にご利用いただくことができます。

○OSL冬の湿原号〔釧路市〕

迫力のあるけむりと蒸気が見る人を感動させます。車内では昔ながらのダルマストーブを囲んでスルメを炙りながら、参加者の交流を深める最適なエクスカーションツールです



○函館山ロープウェイ山頂施設〔函館市〕



函館山山頂から望む市街地の夜景は、香港、ナポリと並び世界三大夜景となっています。宝石を散りばめた扇のように海に浮かぶその光景は見る方に感動をあたえます。夜景を眼下に思い出に残るレセプションパーティーが楽しめます。

～レセプションでの行事等～



YOSAKOIソーランの演舞



道産食品の発信イベント



アイヌ舞踊の披露

○金森ホール〔函館市〕



日本初の国際貿易港として開港した函館。当時の面影を残す赤レンガ倉庫群は、現在も観光のメインスポットとして人気を博しております。海を臨む歴史ある

赤レンガ倉庫の建物を利用した金森ホールは、独特なレンガ造りが印象的な施設です。

～エクスカーション例（札幌市内ホテル発～夕食まで〔半日程度〕～



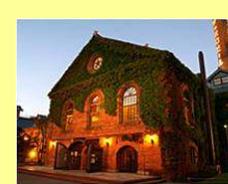
①大倉山ジャンプ競技場



②ウィンタースポーツミュージアム 見学・体験



③白い恋人パーク 工場・ショップ見学（フリータイム）



④サッポロビール園（夕食）



各種サポート体制



北海道コンベンション誘致推進協議会

北海道洞爺湖サミットで培われたノウハウと各構成都市のネットワークを最大限に活用して「北のおもてなし」で、魅力あふれる印象深いコンベンションの開催をサポートします。

◇URL

http://www.conventionsapporo.jp/hokkaido_convention/

◇メールマガジン ~各地域のイベントや支援の情報を発信~

<http://conv-promotion.mash-net.jp/regist.php>

- ・(公財) 札幌国際プラザ
- ・(一社) 旭川観光コンベンション協会
- ・函館市/(一社) 函館国際観光コンベンション協会
- ・北見市観光協会連絡協議会
- ・釧路市/(一社) 釧路観光コンベンション協会
- ・北海道/(公社) 北海道観光振興機構



北海道コンベンションガイド

会議主催者に対して、北海道内の地域情報や会議施設、宿泊施設等の情報をウェブサイトで、多言語で発信・提供し、北海道での国際会議誘致を促進。

◇URL <http://www.hiecc.or.jp/hcg/>



民間や各種学会等への支援

『北海道コンベンション誘致促進助成金』

1. 助成の対象となるコンベンション

2日間以上にわたって開催される学会、会議等のうち「北海道外（外国を含む。）からの参加者が全体の2分の1以上」かつ「開催される市町村またはコンベンションビューロー等から助成金が交付されるもの」であって、次のいずれかに該当するもの。

- ア 参加者が300人以上であり、かつ、そのうち外国からの参加者が50人以上の規模で開催される国際的なコンベンション
- イ 参加者が1,000人以上の規模で開催される全国的なコンベンション

2. 助成額 100万円～300万円（上記1の区分による。）

※主催者が国または地方公共団体のもの、営利又は収益を目的としたもの等は助成の対象となりません。

▼詳しくは北海道のHPへ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/370-convention/convention.htm>

国際会議等の北海道開催推進について、引き続き、
各省庁の皆様のご指導・ご支援をお願いいたします。



【お問い合わせ】

北海道総合政策部知事室国際課
国際企画グループ（国際政策・国際会議）
（担当：木下・田口・福山・高橋）
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL：011-231-4111（内線21-215）
FAX：011-232-4303